

農業塾第6講 花き栽培基礎・直売所視察



花き栽培基礎講座の様子

はじめに圃場にて夏野菜の生育状況について説明をおこないました。現在、ナス・キュウリ・トマト・ピーマン・オクラは毎日収穫がおこなわれていますが、今後、終盤に向けての管理作業等について説明しました。

次に会議室にて、花きの栽培基礎や、クジャクソウ・キクの苗作りについて講義をおこないました。

菊は昼間の時間が短くなると花を咲かせるため、電照などによって、開花を調整し、需要の多い時期に合わせて出荷を調整しているとのことでした。

続いて室内にて、菊とクジャクソウの苗作りをおこないました。

苗作りについては事前に個人ごとのトレーに培土を入れて準備したものを用いて説明をおこないました。

塾生自身で定植をおこなってもらった苗は約1ヶ月間、JAふくおか八女の育苗センターで管理して、次回の講義の際に塾生にお渡しする予定です。



花き苗作りの様子



よらん野視察の様子

最後にJAふくおか八女の直売所であるよらん野の視察をおこないました。

よらん野では、店長が、店舗の概要・現在の会員数（715名）・運営規定などの説明を行いました。会員は前年より15名増えており、売り上げも年々増加しているそうです。

説明の後、館内の青果売り場を視察。多種多様な農産物とお客様の多さに、塾生は大変刺激を受けた様子でした。

事務局の原からひとこと

講義終了に、塾生みなさまにガーベラ・キクの花束をプレゼント。大変好評でした。